

平成 29 年 3 月 6 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 9 回「社会と共存する魅力的な軽水炉の展望」調査専門委員会
開催日時	平成 29 年 2 月 20 日(月) 13:00～16:00
開催場所	東京大学工学部 8 号館 226 号室
参加人数	【委員 15 名】山本主査(名大)、岡本幹事(東大)、越塚幹事(東大)、丸山委員(JAEA)、村上委員(IEE)、北山代理(東工大/木倉委員)、黒崎委員(阪大)、佐治委員(MHINS エンジ)、石井代理(日立/木藤委員)、堺委員(東芝)、岡村委員(東芝)、近藤委員(東大)、山路委員(早大)、吉津委員(MHI)、成川 ^記 (JAEA) 【常時参加者 1 名】神谷氏(原電)
議 事	<ol style="list-style-type: none">1. 前回会合の議事録の確認及び論点の整理 前回会合の議事録について、事前に委員に配布されていた内容が承認された。また、事務局よりこれまでの議論の論点について説明がなされた。2. 今後の進め方 山本主査より今後の議論の進め方に関して説明がなされた。3月13日のシンポジウム開催に向け準備を進めること、及び 3 月末までに報告書を完成させることが説明された。3. シンポジウムプログラムの確認 事務局より、3 月 13 日開催のシンポジウムプログラム案について説明がなされた。4. シンポジウム講演内容:検討の背景と目的 山本主査より、「検討の背景と目的」に関するシンポジウム講演内容が説明された。5. シンポジウム講演内容:安全の上位概念 黒崎委員より、「安全の上位概念」に関するシンポジウム講演内容が説明され、これについて議論がなされた。6. シンポジウム講演内容:安全設計に係る技術要件 堺委員より、「安全設計に係る技術要件」に関するシンポジウム講演内容が説明され、これについて議論がなされた。7. シンポジウム講演内容:社会的受容性とそれから展開される基本要件 成川委員より、「社会的受容性とそれから展開される基本要件」に関するシンポジウム講演内容が説明され、これについて議論がなされた。8. シンポジウム講演内容:経済性・エネルギー安全保障 村上委員より、「経済性・エネルギー安全保障」に関するシンポジウム講演内容が説明され、これについて議論がなされた。9. シンポジウムにおける総合討論 シンポジウムにおける総合討論のテーマに関し議論がなされた。10. 今後のアクション ・シンポジウム講演資料案及び報告書案に関するコメントを事務局が集約する。 ・3月末に報告書を完成させる。
備 考	なし。

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 8 回「社会と共存する魅力的な軽水炉の展望」調査専門委員会
開催日時	平成 28 年 11 月 17 日(木) 9:30~12:00
開催場所	東京大学工学部 8 号館 226 号室
参加人数	【委員 15 名】山本主査(名大)、越塚幹事(東大)、山口幹事(東大)、 宇井委員(電中研)、村上委員(IEE)、黒崎委員(阪大)、佐治委員(MHINS エンジ)、 木藤委員(日立)、喜多委員(東電)、堺委員(東芝)、岡村委員(東芝)、 近藤委員(東大)、山路委員(早大)、吉津委員(MHI)、成川(JAEA) 【常時参加者 3 名】神谷氏(原電)、田中氏(JNFL)、田中氏(エネ総研)
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回会合の議事録の確認及び論点の整理 前回会合の議事録について、事前に委員に配布されていた内容が承認された。 また、事務局より、これまでの議論の論点について説明がなされた。 2. 今後の進め方 山本主査より今後の議論の進め方に関して説明がなされた。本委員会の設置期間を2017年3月31日まで延長し、3月にシンポジウムを開催することが説明された。 3. 報告書目次案の確認 堺委員より、報告書の目次案について説明がなされた。 4. 2016年秋の大会企画セッション開催報告 成川より、2016年秋の大会企画セッションの議事概要が報告された。 5. 多数基、集中立地の考え方 山口幹事より、多数基・集中立地の考え方に係る検討結果が報告され、多数基立地に対する防災計画や性能目標の設定の考え方について議論がなされた。 6. 経済性・エネルギー安全保障 村上委員より、経済性・エネルギー安全保障に係る検討結果が報告され、本委員会における検討の方向性及び検討対象について議論がなされた。 7. ライフサイクルを通じた統合設計 山路委員より、ライフサイクルを通じた統合設計に係る検討結果が報告され、リスク情報を活用したオンラインメンテナンスの在り方等について議論がなされた。 8. Practically eliminate(PE)と Evacuation free(EF)の解釈と考え方 黒崎委員より、PE 及び EF の解釈と考え方に係る検討結果が報告され、DEC 及び PE・EF の定義について議論がなされた。 9. 次回日程と今後のアクション ・12月末を目途に、報告書のドラフトを完成させる。 ・事務局は報告書フォーマットを作成し、委員に配布する。 ・次回会合は2017年 2 月頃に開催し、報告書内容の確認と、シンポジウムの実施内容について議論する。日程の詳細は事務局より別途連絡する。
備 考	なし。

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 7 回「社会と共存する魅力的な軽水炉の展望」調査専門委員会
開催日時	平成 28 年 8 月 22 日(月) 10:00～12:00
開催場所	東京大学工学部 8 号館 226 号室
参加人数	【委員 15 名】山本主査(名大)、岡本幹事(東大)、越塚幹事(東大)、山口幹事(東大)、丸山委員(JAEA)、宇井委員(電中研)、村上委員(IEE)、黒崎委員(阪大)、喜多委員(東電)、堺委員(東芝)、岡村委員(東芝)、近藤委員(東大)、山路委員(早大)、吉津委員(MHI)、成川(JAEA) 【常時参加者 3 名】神谷氏(原電)、田中氏(JNFL)、田中氏(エネ総研)
議 事	<p>1. 前回会合の議事録の確認及び論点の整理 前回会合の議事録について、事前に委員に配布されていた内容が承認された。また、山本主査及び事務局より、これまでの議論の経緯及び今後の議論の進め方に関して説明がなされた。</p> <p>2. 報告書目次案の確認 堺委員より、報告書の目次案について説明がなされた。社会的受容性から展開される基本要件と技術的特性の関係の整理や技術的特性の項立ての順序について、報告書を執筆する中で再検討することとした。</p> <p>3. 2016年秋の大会における報告内容の確認 山本主査、堺委員、及び成川より、2016 年秋の大会企画セッションにおける報告内容が説明された。</p> <p>4. ライフサイクルを通じた統合設計 山路委員より、ライフサイクルを通じた統合設計に係る検討結果が報告され、メンテナンス・継続的改善、廃棄物最小化・中間貯蔵、及び廃炉の観点からプラントのライフサイクルを通じた統合設計の在り方について議論がなされた。</p> <p>5. 安全原則及び安全目標・性能目標 丸山委員より、安全原則及び安全目標・性能目標に係る論点に関し、使用済み燃料プールに対する性能目標の在り方や原子力防災と性能目標の関係等の論点について報告がなされた。</p> <p>6. Practically eliminate(PE)と Evacuation free(EF)の解釈と考え方 黒崎委員及び喜多委員より、PE 及び EF の解釈と考え方に係る検討結果が報告された。</p> <p>7. 深層防護の実装に係る論点の検討 成川より、深層防護の実装に係る論点の検討結果が報告された。</p> <p>8. 次回日程と今後のアクション ・各検討チームは、今回の議論内容を踏まえ論点整理資料を更新する。 ・多数基・集中立地及び経済性・エネルギー安全保障に関する各論点の検討チームは、次回会合において検討結果を提示する。 ・事務局は報告書目次案及び秋の大会における講演内容について、各委員の意見をとりまとめる。 ・次回会合は11月頃を予定している。詳細日程は事務局より別途連絡する。</p>
備 考	なし。

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 6 回「社会と共存する魅力的な軽水炉の展望」調査専門委員会
開催日時	平成 28 年 6 月 6 日(月) 13:00~16:00
開催場所	東京大学工学部 8 号館 226 号室
参加人数	【委員 11 名】山本主査(名大)、宇井委員(電中研)、糸井委員(東大)、黒崎委員(阪大)、佐治委員(MHI NS エンジ)、石井代理(日立/木藤委員)、松中委員(東電)、堺委員(東芝)、山路委員(早大)、吉津委員(MHI)、成川(JAEA) 【常時参加者 3 名】神谷氏(原電)、田中氏(JNFL)、田中氏(エネ総研)
議 事	<p>1. 前回会合の議事録の確認及び論点の整理 前回会合の議事録について、事前に委員に配布されていた内容が承認された。また、山本主査及び事務局より、これまでの議論の経緯及び今後の議論の進め方に関して説明がなされた。</p> <p>2. Practically eliminate(PE)と Evacuation free(EF)の解釈と考え方に係る論点の検討 黒崎委員及び松中委員より、PE 及び EF の解釈と考え方に係る検討結果が報告され、PE 及び EF を満足するための具体的なスペックの在り方等について議論がなされた。</p> <p>3. Active/Passive 機器の最適化に係る論点の検討 堺委員より、Active/Passive 機器の最適化に係る論点の検討結果が報告され、これについて質疑を行った。Active/Passive 機器の組み合わせの評価方法、並びに Passive 機器の利点及び欠点等について議論がなされた。</p> <p>4. 安全原則及び安全目標・性能目標に係る論点の検討 安全原則及び安全目標・性能目標に係る論点について、特に性能目標の在り方について議論がなされた。</p> <p>5. 深層防護の実装に係る論点の検討 成川委員より、深層防護の実装に係る論点の検討結果が報告され、特に深層防護の防護レベルの設定の在り方について議論がなされた。</p> <p>6. 次回日程と今後のアクション ・各検討チームは、報告書を念頭に、論点整理資料を作成する。 <input checked="" type="checkbox"/>イフサイクル統合設計、多数基・集中立地、経済性・エネルギー安全保障に関する各論点の検討チームは、次回会合において検討結果を提示する。 <input type="checkbox"/>日本原子力学会秋の大会における報告について、事務局は発表資料を作成し、次回会合において提示する。 ・次回会合は 8 月下旬頃を予定している。詳細日程は事務局より別途連絡する。</p>
備 考	なし。